

Nextone

配信市場の拡大、集ごもりの消費が追い風

Nextone（7094・東マ）がストップ高（504円高の3370円）。音楽・動画配信市場の伸長と管理楽曲・取扱原盤の利用拡大を背景とした業績高成長が確認された。

10日発表の2021年3月期第3四半期（20年4～12月）決算は41・8%増収、58・6%営業増益に、10～12月期のみで見ても前年同期比で増収増益を達成し、売上高は四半期ベースの過去最高実績を大幅に更新した。なお、著作権使用料は実際の楽曲等の利用時期と売上計上時期にタイム

ラグが生じる。管理楽曲数は12月末時点で前期の期中新規楽曲数を超えており、話題となった楽曲の契約も順調に拡大。自宅におけるエンタテインメント消費のニーズや、リアルライブとライブ配信の共存による新たなライブエンタメサービスの誕生など、コロナ禍による追い風の影響は第4四半期（1～3月）にも反映される。

足元の好実態を踏まえて、通期の業績予想を上方修正した。売上高は従来予想を4億800万円上回る60億円（前期比38

・1%増）、営業利益は1億2000万円上回る5億円（同63・6%増）の見通し。